

ファン付き作業着 好調

熱中症対策、猛暑の6月下旬から販売増



多彩なファン付き作業着が並ぶ売り場＝各務原市小佐野町、プロサイト各務原インター店

労働現場の熱中症対策として、電動ファンを内蔵した作業着の販売が好調だ。県内では6月末に過去最短の梅雨明けとなり、夏本番の暑さが続いたため。ファン付き作業着の6月の売り上げが前年同月比約2倍に伸びた資材・工具専門店もあり、店の担当者は「6月の気温の上がり方が異常だったこともあり、今夏の暑さを警戒する人が多い」と今後も続く予想する。

(山本貴史)

県内専門店、機能も拡充

ファン付き作業着は暑さ対策の定番商品で、ベスト、半袖、長袖の3種類があり、屋外の工事現場や工場など現場環境に合わせて選べる。岐阜地域の作業服専門店では「今年は急激に気温が上昇した影響が大きい」と、6月下旬から売り上げが大きく伸びたと言っている。バローが展開する業者向け

資材・工具専門のプロサイト各務原インター店(各務原市)では例年、7月末～8月中旬が販売のピークだが、今年は6月下旬から売れ始め、6月の販売額は前年の約2倍に伸びた。バローのホームセンター事業全体でも前年の同じ時期より伸びており、野田良樹店長は「今年は、早い時期から売れ始めており、夏場全体でも販売額は伸びるだろう」と見込む。

最近では、冷風を送るために保冷剤も収納できる作業着や小型ファン付きのマスクも登場。新たな暑さ対策商品が次々と出てきており、野田店長は「デザインや機能が毎年拡充され、購入者の選択肢が増えている」と話す。